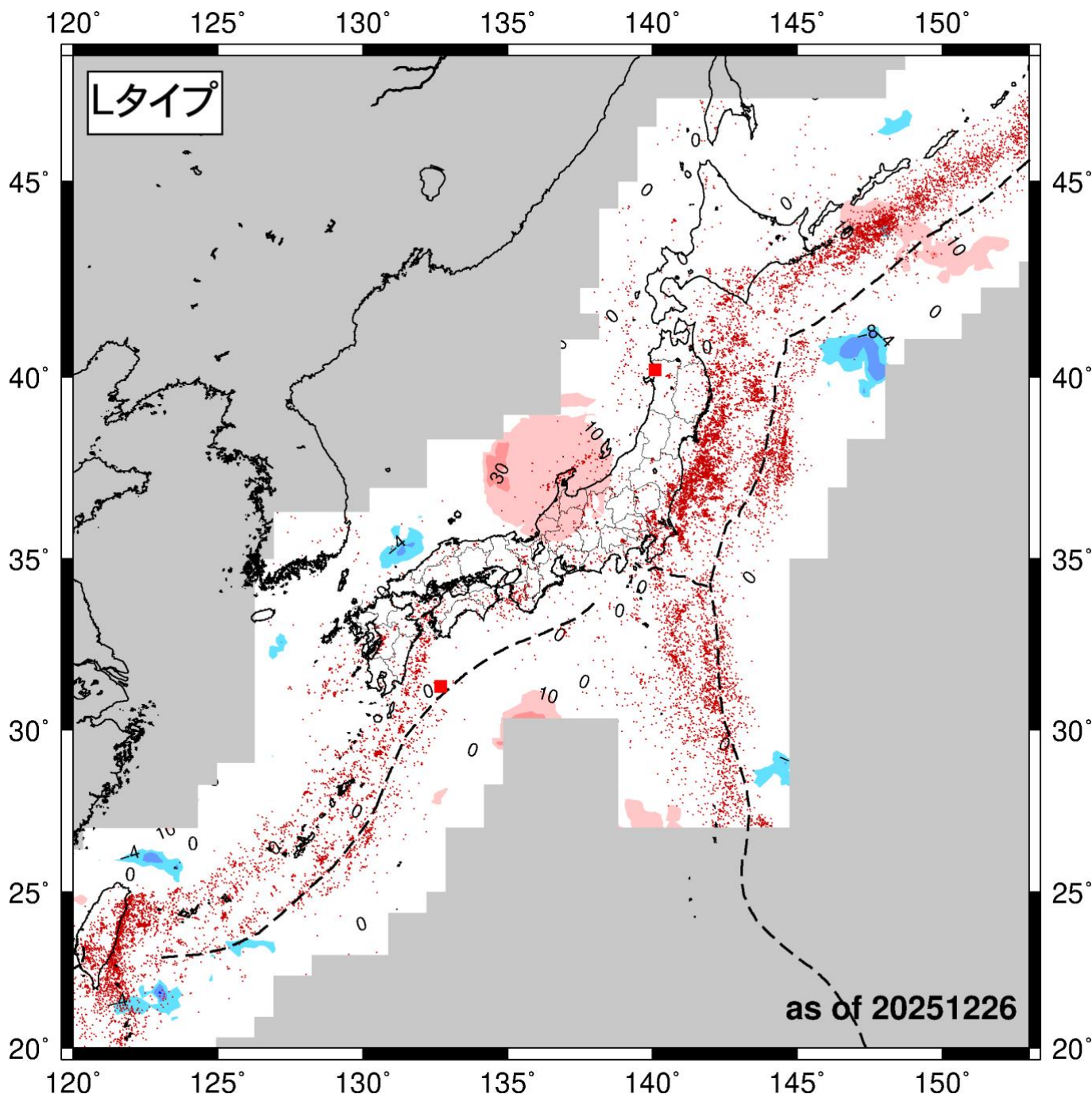




## 日本およびその周辺の広域地下天気図®

11月17日のニュースレターに続き、現在の気象庁の観測網で解析できる最大範囲の領域の解析です。今週号では12月26日時点のLタイプ地下天気図をお示します。



本地下天気図で対象とするマグニチュードは7以上の地震です。また北海道沖に青い静穏化の異常を見る事ができますが、山陰沖の異常とともに、静穏化を計算するための地震数(過去の当該地域で発生した地震の数)が少なく、精度の低い異常です。

現時点でM7を大きく超える地震発生の切迫性が高い状態とは今回の地下天気図解析からは言えないと考えています。



## DuMA ダッシュボード

12月29日時点のダッシュボードです。先週号でお知らせしたとおり、今回は新たに **(Kk)** の異常を追加しました。なお房総沖のスロースリップに伴い発令しておりました異常 **(Aa)** は今週から茨城県沖・千葉県沖・房総半島の静穏化異常 **(Kk)** に統合いたしました。また根室・釧路沖に発令しておりました **(Gg)** の静穏化異常を有効期間満了という事で削除しました。

前回からコメント等が変更・追加された部分を太字で表現する事にいたしました。

更新日

2025.12.29

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間 関連情報	備考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常 現時点では ほぼ解消	千島海溝・日本海 溝会合部 <b>(Jj)</b>	Medium	静穏化はかなり解消して いる	2024年12月	2025年12月 ほぼ解消	解消と判断して から6ヶ月ほど 当面2026年3月 迄	<b>12月8日に青森沖でマグニ チュード7.5発生</b> 現時点では静穏化はほぼ解消 している
静穏化異常 解消	宮城沖を中心とする アウターライズ 地域 <b>(R)</b>	High	日本海溝の東側（アウ ターライズ）の地域で静 穏化が継続中	2020年9月	2025年12月 解消	解消と判断して から6ヶ月ほど 当面2026年6月 迄	アウターライズ地域でM7クラ スが予想される
静穏化異常 継続中	茨城県沖・千葉県 沖・房総半島 <b>(Kk)</b>	High	首都圏の地下天気図で も、東北地方を中心とし た地下天気図でも静穏化 継続中	2025年5月	継続中	<b>新規・今回から 掲載</b>	今週号の日本列島全域を対象と する地下天気図では静穏化異常 が見られない事から発生しても M7程度かと推測している 今週号で <b>(Aa)</b> のスロースリッ プに伴う異常と統合
静穏化異常 解消	中国地方 <b>(Bb)</b>	High	岡山県を中心とする地域 で静穏化を確認 近畿地方に静穏化が拡大 か	2024年3月	2025年10月	中国地方は静穏 化解消と判断 2026年3月迄	異常の空間的な形状がはっきり してきた事とMタイプ、Lタイ プいずれでも静穏化を確認
静穏化異常 継続中	九州北部 <b>(Y)</b>	Medium	福岡県を中心に静穏化を 確認、現在静穏化の中心 は佐賀・長崎方面へ移動	2023年10月	継続中		この地域には警固断層が位置し ている。静穏化面積が小さいの で、M7を超える可能性は低い
静穏化異常 継続中	兵庫・大阪を含む 紀伊半島 <b>(Hh)</b>	Medium	今回追加した静穏化の異 常、MタイプだけでなくL タイプでも確認される	2025年7月	継続中		今後の推移に注視。 <b>(Bb)</b> から 独立した異常とした
活発化異常 継続中	能登半島周辺 <b>(S)</b>	High	2024年1月1日、令和6年能 登半島地震が発生！能登半 島の東側（佐渡島側）も西 側も歪の蓄積がさらに進行 している	2021年9月	継続中		11月26日に能登半島西方で M6.4の地震が発生。今後は能登 半島の東側（佐渡島近傍）での 誘発地震の発生が危惧される
活発化異常 継続中	小笠原諸島周辺 <b>(W)</b>	Medium	2023年10月初旬より、鳥島 西方で活発な地震活動開 始。10月には津波注意報が 2度発令された	2022年10月	継続中		西之島の噴火や硫黄島の噴火な ど、この海域では火山活動が活 発化している
活発化異常 ほぼ終了	日向灘 <b>(Ff)</b>	Medium	2024年4月に豊後水道で M6.6の地震が発生したが、 この活発化は宮崎沖が中心	2024年2月	ほぼ解消		8月8日、臨時情報発表の元と なったM7.1の地震が発生 さらに2025年1月13日にもM6.9 が発生